

洋書輸入協会会報

VOL. 19
NO. 2

(通巻 214 号) 昭和 60 年 2 月

新 年 懇 親 会

今年も新年恒例の洋書輸入協会 賀詞交換会が1月8日午後6時から、東京プリンスホテルで行なわれました。年々参加者が増え、プレスクラブの会場が手狭になり、東京プリンスホテルへ移ってはや5年、すっかりおなじみとなったサンフラワーホールへは、88社、220名の方々が集まりました。定刻6時に開会、三洋出版貿易社長、伊部文化厚生委員長の司会で進められました。丸善会長、飯泉協会理事長から年頭のご挨拶があり、現在の日本をとりまく貿易環境の厳しさ、ドル高円安に直面する洋書業界の複雑な問題などにふれながら、洋書輸入協会の生い立ちを話されました。

「……現在の協会の前身は、昭和16年3月3日海外出版物輸入同業会として結成されました。この時19社だったのが44年の歳月を経て、今や6倍強の128社、盛大な協会に発展しました。この間に社会的、文化的に果たした役割は大きく、自負するに足る歴史を持ちますが、創立45年、50年に向けて、当協会が更に社会的存在価値を高めるべく、一段の飛躍を目指して努力する時が来ました。各社の発展と会員のご健勝を切に祈ります。」

引き続いて紀伊國屋書店、松原社長から、「本日は1895年にお生れになり、90才となられた国際書房、服部会長

のお元氣な姿に接し、また1920年に丸善に入社され、以来65年勤続されている飯泉会長をはじめ、立派な諸先輩のもとに協会が発展し、今日に到った事を思い、先輩方に心から敬意を表します。昨年は Chemical Abstracts についてきわめて遺憾な事件がありましたが、協会のメンバーの協調がうまくいった年だったと思います。今年も円安、或いは行財政改革と構造的な客観情勢は悪いようですが、業界各社のご努力と協調により、良き年であることを祈り挨拶とさせていただきます。」

業界を代表されるお二人のご挨拶の後を受けて、乾杯の音頭を最年長の国際書房、服部会長にお願いしたいという伊部文化厚生委員長の指名に服部氏は、

「お二人の立派なお話があり、今日この会合が非常に明るいように感じる。この明るい感じをお二人が代表して皆様に心の中を披瀝されたものと思う。私のような者の出る幕ではないが、自分としては大木が年輪をふやしてゆくように、人間も最後まで快活に生き、快活に終らなければならないと思う。お二人のお話をひとつのステップとして、今年の良い正月、良い一ケ年にしていきたいと思いますと思い乾杯したい。乾杯！」サンフラワーホールに裏と響く服部氏の音頭に合わせて全員で乾杯、その後、

新年懇親会…………… 1	総代理店ご案内…………… 2	Book Review No104 …… 3
ニュース…………… 2	社名変更のお知らせ…………… 2	広告…………… 4

期せずして「服部会長に乾杯」「協会に乾杯」という声があちこちからわきました。このように和やかに明るく乾杯の音が湧き上がったのは新年の幕明けにふさわしいシーンでした。宴会に移り、今年もよろしくとの交流が始まりました。めったにみられない顔合せでここかしこに和気あいあいの輪がひろがり、この会のおかげで今年も会えましたね、新年の挨拶まわりに駆け回らなくて大助かりと文化厚生委員には嬉しい声があちこちで聞かれました。談笑のうちにいつしか時も過ぎ、宴も終りに近づきこれも恒例となった紀伊國屋書店、相良顧問の手じめとなりました。相良氏から今年の8月で引退されるというご挨拶があり、一瞬シーンと淋しさが場内を駆け抜けました。お元気にいつも業界の発展に盡され、理事会や会報委員会で活躍されているだけに引退を惜しむ声がありました。そして三三七の力強い手拍子でこの日の盛会がしめくくられました。

(洋販、大倉光弘)

ニュース

このたびパーガモンプレス東京事務所は、外務省図書館へソ連に関する同社の出版物38冊を寄贈した。

総代理店ご案内

(株) 紀伊國屋書店 ☎(03)354-0131 (大代表)
 Association for Computing Machinery, U.S.A.
All books and periodicals
 Basil Blackwell Publisher Limited, U.K.
All periodicals

日本書籍貿易 (株) ☎(06)386-8601
 Hive Publishing Co., Easton, PA, U.S.A
 All titles of 'Hive Management History' Series

ユナイテッド・パブリッシャーズ・サービス社 ☎(03)291-4541
 Sage Publications, Inc. (U.S.A.)All books
 Sage Publications Ltd. (U.K.)All books
 Philosophia Verlag (W. Germany)All books



社名変更のお知らせ

Verlag Chemie は本年1月から VCH Verlagsgesellschaft と社名を変更しました。同社の出版分野が化学からさらに生物学、物理学、数学、医学、法律、心理学、人文へとひろがってきたので、従来の社名が不適當となり、新社名に変更したものです。住所に変更はありません。

青木正美著 古本商売蒐集三十年

1984 年刊 日本古書通信社 ¥2,500

昨年の3月発行 (No.97) の本会報に、同じ著者の「東京下町古本屋三十年」を紹介した事があったが、本書はその続篇とも云うべきものである。洋書商売の世界も違った意味での広さはあるが、読んでみて古書商売の世界も広いものだと思わせる。というのは今度の場合、蒐集を中心として三部に分けて書かれ、第一部で児童読物とマンガ、双六・カルタ・メンコ、絵葉書と、かなり「本」そのものの守備範囲より外れたものを扱い、第二部で初版本、雑誌、映画物、第三部で自筆物を取り上げているからである。「下町古本屋三十年」で、著者は「蒐集ということなくして古本屋は成り立たない商売である」とのべ、弘文荘の反町茂雄氏も序で「『蒐集癖』と『働き病』との、うまい具合の結合の結果が、青木正美氏の、今日の自由闊達な生活と文章とを生み出した」と述べておられるのもうなづける。

ご本人の元々好きな分野は、自筆物と云う事で、それらを買ひ続ける資金稼ぎのために、一時的にでも儲かるものをさがしているうちに、このような分野での実績が出来上って行ったもの、ようである。何しろ三十何年にわたるこれらの分野での変遷は一朝一夕にして語られるものではない。著者はそれを、お手のもの、豊富な資料や写真を本文に引用駆使して内容を実證的かつ面白く盛り立て、いる。例えば昭和51年11月の「趣味の古書展二百回記念展」での青木書店の「講談社の絵本」を中心とする販売目録は11ページ、数百点にも及ぶものであるが、「幼年倶楽部・昭和12・2月臨時増刊お正月パンザイ号」が、二万五千円をはじめ、かなりの値がつけられているのを見ても著者の業者としての自信の一端がうかがえる。他にも双六の販売目録、カルタについての文献の紹介をはじめ、実物の写真が適宜そう入されて興味深く、このような分野での先駆

者的な意義が大きい。

初版本についても昭和四十年頃からブームがはじまり、三島由紀夫本の登場があって、昭和四十四・五年頃を頂点としたいきさつが、経験を通してくわしく述べられている。雑誌の章のあたりから話は佳境に入り途中で読むのを止められなくなる。映画のパンフとチラシ、ポスターを取って見ても決してバカには出来ないものである事を本書を読んで教えられるのである。

そして著者の執念とも云える自筆物の紹介に入るのだが、はからずも明治古典会で落札した、小川健作(小川末明のこと) の七・八十枚にもわたるハガキや、ダンボール一箱に入った田村泰次郎資料が手に入る事になるのだが、奇しくもめぐりめぐって著者の手元に渡った事や、時のたつのを忘れて往年の文学青年としての著者が資料を読みふけている最中に田村泰次郎の訃報に接するくだりは、商売を超えた、何か因縁めいたものを感じる程である。本書の帯に「著者の哀惜の情溢れるばかりの、鎮魂曲としても、又田村泰次郎再認識のためのさきがけとして看過できないものである」と記されてある。

本書は「古本商売古書盛衰譚」として世に出す予定だったが、途中これらのいきさつがあったので、表題の「蒐集三十年」としたとある。これらを見てくると古本商売も、なかなか魅力ある商売に見えてくるが、こゝに達する迄の一業者としての、苦勞、努力は並大抵なものでない事は、前述の「古本屋三十年」を読んでもみれば判ることであろう。全国で二千数百軒もある古書業者の中で、このような戦後三十年以上にわたる業界の歴史をも取り扱った著書はユニークであると同時に、後年に至る程貴重な資料として、その価値が見直される部類に入るのではなからうか。

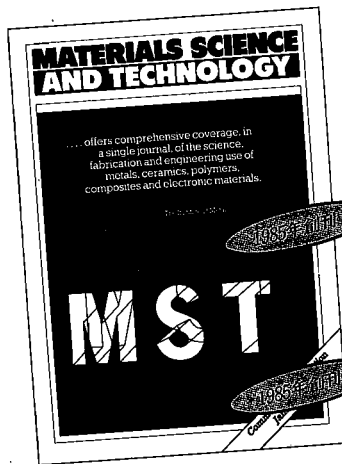
(教文館・K.W. 記)

The Institute of Metals

英国金属学会

学術雑誌のご案内

1985年1月よりThe Metals Societyは、The Institution of Metallurgistsと合併し、The Institute of Metalsと名称が変わりました。雑誌はすべてASP(航空貨物)で送られます。



MATERIALS SCIENCE AND TECHNOLOGY

(これまでのMetals TechnologyとMetal Scienceの2誌を統合して創刊されました。)

工業用冶金・合金・関連材料に影響を及ぼすと考えられる応用冶金・金属工学技術の広汎な領域に関心をもって編集されます。また、鉄・非鉄金属及び関連材料、冶金の物理及び化学の分野を網羅し、基礎科学も重点的にとりあげます。

月刊 ¥95,000/年

SURFACE ENGINEERING

バーミンガム大学ウルフソン表面工学研究所の協力を得た、1985年1月創刊の季刊誌。21世紀に向けて冶金学の中でもっとも発展が予想される表面工学に焦点を当てたエキサイティングな雑誌。

季刊 ¥32,600/年

HISTORICAL METALLURGY

英国初期の高炉を研究するため1963年に設立された冶金学歴史学会の雑誌。1985年の最初の号は1984年9月に開催した「1900～1950年の合金の歴史」に関する会議の議事録を含んでいます。

年2回 ¥5,940

WORLD CALENDAR ——— 季刊 ¥26,400/年

POWDER METALLURGY ——— 季刊 ¥37,900/年

BRITISH CORROSION JOURNAL ——— 季刊 ¥37,900/年

IRONMAKING AND STEELMAKING ——— 隔月刊 ¥49,500/年

INTERNATIONAL METALS REVIEWS ——— 隔月刊 ¥49,500/年

STEEL IN THE USSR ——— 月刊 ¥144,500/年

■1985年「円」価格は、版元の都合で変更されることがありますので、予めご了承下さい。(S.59年12月末現在)

〈日本総代理店〉 **ユサコ株式会社**

-USACO-

本社 于105 東京都港区新橋1丁目13番12号ビル ☎(03)502-6471(代表)
大阪営業所 于530 大阪府北区金島1丁目2番2号日昭ビル ☎(06)344-6624(代表)
名古屋営業所 于461 名古屋市中区横木町3丁目63番地 ☎(052)931-2601(代表)
筑波営業所 于300 土浦市富士崎1丁目7番21号和光ビル ☎(0298)23-1773(代表)

昭和60年2月 通巻第214号 洋書輸入協会 編集者 柴田 三夫
〒103 東京都中央区日本橋1丁目20番3号 藍沢ビル603号室 ☎271-6901
〒530 関西支部 大阪市北区芝田1-10-2 第一山中ビル ☎371-5329